

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、4日、5日、8日の3日間、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



## 「女性の力」いかせる社会を!

綿貫 伸子(公明党)

### 今回の主なテーマ

- ▶「女性の健康週間」
- ▶「多様な働き方実践企業」
- ▶市職員の女性管理職登用

#### ◆さらなる男女共同参画の推進を

①「女性の健康週間」(3月1日～8日)に、女性の健康を包括的に支援する取り組みを望むが。  
 ②ワーク・ライフ・バランスの実現のために、県では「多様な働き方実践企業」、国では「くるみん」を認定。市内企業へ、積極的な推進を望むが。  
 ③当市は、課長職以上の管理職に占める女性の割合が、5.8%と低い。女性登用への取り組みは。  
**長寿健康部長** ①乳がん、子宮がん、骨粗鬆症検診、骨折予防教室などのほか、保育サービス付きで女性のための健康づくり講座を開催。これらを女性の健康週間にあわせPRし、女性自らが健康づくりを実践できるよう支援したい。  
**環境経済部長** ②さまざまな機会を捉え周知するなど啓発活動を行っていく。10月に県と共催

で在宅ワークの心構えや仕事の探し方セミナーを開催する予定。こうした多様な働き方を後押しする事業も、今後推進していく。  
**総務部長** ③女性職員の割合は、主幹職が22.2%、主査職では41.3%と比較的高い。さらに女性管理職候補者の育成を進めるため、女性のためのキャリアデザイン研修など、意識啓発を図り、女性職員の自主研修グループ育成などの新たな取り組みも予定している。

次世代認定マーク  
(愛称:くるみん)



## 介護サービスの量・質とも 後退させないで

広森 すみ子(日本共産党)

### 今回の主なテーマ

- ▶介護保険制度の改正への対応
- ▶臨時職員の処遇改善

#### ◆要支援者へのサービス

介護保険制度改正で、要支援者の訪問介護とデイサービスが介護給付から外され、市町村の実施する地域支援事業に移行するが、専門職によるサービスの縮小にならないか。  
**長寿健康部長** 要支援認定者が保険給付による訪問介護と通所介護を受けられなくなることは、要支援認定者の心身の状況や生活実態、ニーズに応じた多様なサービスの提供により対応する。専門的なサービスの必要性が高い要支援認定者には、市の事業者指定や委託によって現行相当のサービスを利用することができる。

できる施設整備が必要ではないか。  
**長寿健康部長** 入所待機者数は8月1日現在、在宅者は245人、入院または他の施設に入所されている方は253人、合計で498人。施設整備は、入所待機者数からも整備の必要性は十分認識しており、市内法人の事業展開の意向と介護保険料への影響に配慮しながら、第6期事業計画を策定する中で整備量を検討する。



#### ◆特別養護老人ホームの増設

特養ホームの待機者は何人か。希望者が入所



## 住みやすい狭山市に 人口増加策と高齢者対策

高橋 ブラックソク久美子(無所属)

### 今回の主なテーマ

- ▶早急な都市計画道路整備着手
- ▶市と国際交流協会の関わり
- ▶高齢者のため、バス周遊路線を

#### ◆人口増加策として子育て支援の増強を

①現在半額の第2子の保育料を無料にしては。  
 ②現在は低所得者が比較的高い保育料を払っているが、保育料の見直しをしては。  
 ③ちゃっぼ保育室(狭山市駅前の一時預かり保育室)の使用料金を3時間500円に減額しては。  
**市長** ①保育料は保育サービスの受益に応じて負担いただくものと考えており、市の財政に与える影響を考慮すると、第2子の保育料の無料は困難と考えている。  
**福祉子ども部長** ②現行では、世帯の所得税課税額に応じた階層区分を基本にしているが、27年度から開始予定の子ども・子育て支援新制度では、世帯の市民税課税額に応じた階層区分に改められ、保育を必要とする時間に応じた区分

も設定され、国が示す基準額を上限に市が定める。新制度に向け、現在の負担水準を念頭に応能負担の観点も含め総合的に検討する。  
**市長** ③一時預かり事業は、駅前にある立地条件を生かした誰でも気軽に利用できる子育て支援事業だが、その事業効果も含め検討を進める。

3歳児未満の保育料比較 (青字は階層の最高額、赤字は2番目)

所得税額	狭山市	所沢市	入間市	新座市	朝霞市	西東京市	国分寺市
非課税	0	2,000	0	0	0	2,100	0
2千円	10,000	11,000	9,900	10,500	8,570	11,500	6,900
1万円	14,500	12,700	14,200	14,500	10,050	14,500	8,300
4万円	26,000	23,400	24,700	26,000	16,270	21,000	12,900
7万円	39,000	38,700	37,000	39,000	21,490	24,500	22,600
13万円	47,000	44,400	44,500	51,000	33,670	28,000	30,000
20万円	51,000	47,100	49,900	55,000	41,590	31,500	34,500
30万円	56,000	53,800	52,000	57,000	46,920	35,500	40,600
40万円	58,000	57,000	54,000	59,000	47,560	39,500	43,300
50万円	58,000	57,700	54,500	60,000	47,880	43,000	45,700
100万円	58,000	59,500	54,500	65,000	47,880	46,000	55,100



## 「ブラック企業」 根絶に向けた取り組みを!

大沢 えみ子(日本共産党)

### 今回の主なテーマ

- ▶労働相談窓口の周知と充実
- ▶過労死防止月間への取り組み
- ▶小中学生の携帯トラブル防止

#### ◆「ブラック企業」根絶に向けて

相談窓口の充実と労働ルールの積極的な周知を図ってほしいが、具体策は。  
**環境経済部長** 来年度から、産業労働センター業務仕様の中に労働の総合相談窓口業務を新たに追加、日常的相談体制を構築したい。働くルールのPRは、各種セミナーの中で労働者制度の基本や相談窓口の説明も意識して行いたい。

#### ◆過労死防止月間について

11月の月間に向け、「労働法パンフレット」などを作成し積極的な啓発をしてほしいが考えは。  
**環境経済部長** 厚生労働省のハンドブックなどを引用したチラシを作成し、機会を捉えて配布するなどしたい。

#### ◆小中学生の携帯端末によるトラブル防止

携帯電話を持つ場合を想定した、親子での「利用承諾書」作成の取り組みなどを広めては。  
**学校教育部長** 家庭での使用上のルールを考え、守らせる取り組みは必要と考えており、校長会やPTAとも連携して、検討していきたい。

厚生労働省の「労働条件相談ホットライン」(来年3月まで)

フリーダイヤル (0120) 811610

- ◆平日 午後5時～10時 (水曜日を除く)
- ◆土日 午前10時～午後5時

困ったときは相談を

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313